

なに？なに？ ～現場にある不思議なもの～

大谷川の法面に出現したこの青い物体(写真①)。これは、一体何であるかお分かりですか？実はこれ、排水ドレーン。写真②のように、法面の排水を集めている。山の仕事では、水とのお付き合いが大切。施工業者の適切な施工が、災害に強い道路を造る。

同じく大谷川の現場に運び込まれたこの機械(写真③)。これは、一体何であるかお分かりですか？これは、今回採用された気泡混合盛土の圧縮強度試験機。コンクリートほどの強度がない気泡混合盛土では、通常の圧縮試験機で試験ができないことから、現地に機械を持ち込み試験を実施。工事も進み、この機械の出番もすぐそこまで来ている。ちなみに写真④は気泡混合盛土の供試体である。

続いては、内谷より写真⑤のこれ、わかりますか？これは型枠を固定する金具。写真⑥のように使う金具。コンクリートの安全な施工には欠かせない。

では最後は、エノマより。写真⑦のこれは・・・、地盤改良用の施工器具。バックホウのアタッチメントを取り換え(写真⑧)施工する。この器具、地盤改良し易いよう、爪間隔を微妙に変えているとか。何もなさそうなところにも一工夫。



各現場の工事が着々と

根尾川筋にあるエノマ谷(写真⑨)、宇津志谷(写真⑩)では、堰堤の打設が進む。砂防工事現場の狭いヤードでは、25tクレーンがより一段と大きく感じる。

揖斐筋における内谷では、林道の付け替え道路の大型ブロックの存在感が日に日に大きくなっている(写真⑪)。

ドン谷では、工期末に向け流路工工事が大詰めを迎えている(写真⑫)。

大谷川では、生コン車が吹付工事のモルタルをおろし、現場まで圧送中(写真⑬)。



工事施工業者とともに猛禽類講演会を受講

山間部での工事では、猛禽類とお付き合いすることもしばしば。生態系のトップに君臨する猛禽類とお付き合いは、大変重要な課題。このため、猛禽類に対する適切な知識を得るため、アジア航測(株)の松沢氏による猛禽類のご講演を工事施工業者と事務所関係者と受講。

越美山系でよく見かける猛禽類の特性や、工事中の配慮など、29名の参加者は真剣に耳を傾けていた。



雨による影響 =大谷川=

台風6号の影響により、大谷川工事現場事務所の雨量計は200mmを超える雨量を観測。大谷川工事現場内では、幅約15m、法長約6mの崩落が発生。土砂供給の激しい越美山系の山々。山の顔色を伺いつつ、本日も工事が進む。

